

企001	項目名	若者定住促進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	167
年度	R8	所属名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広域連携係 0857-30-8013		
款 総務費	【12次総の施策体系】1101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少・少子高齢化が進行する中、鳥取市をはじめ麒麟のまち圏域が連携し、将来にわたって継続・発展していくための、若者定住につながる施策に取り組むことが求められている。現在、「すこい！鳥取市婚活サポートセンター」の対象者を麒麟のまち圏域に拡大し「麒麟のまち婚活サポートセンター」として運営している。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 結婚を希望する男女の「婚活」を支援することにより、結婚による若者の定住を促進し、圏域の人口増加を図る。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	10,106	本年度要求額	11,930
総務部長段階査定額	11,930	その他財源の内訳	
市長段階査定額	11,930	分担金	0
区 分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	5,152	寄付金	0
一般財源	6,778	総入金	5,152
計	11,930	諸収入	0
備 考 欄	その他	0	

企002	項目名	若者による地方創生政策推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	167
年度	R8	所属名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【12次総の施策体系】3201		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では、平成27年度から始まった地方創生の取組を受けて、従前の「鳥取市若者会議」を見直して、平成28年4月から、若者の視点による地方創生に向けた取組の深化を図ることを目的に、「とっとり若者地方創生会議」を設置している。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 若者自らが、地方創生に関する調査・研究を行い、若者の視点による必要な施策を市に提言することで、本市の地方創生に向けた取組の進化を図る。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	857	本年度要求額	928
総務部長段階査定額	928	その他財源の内訳	
市長段階査定額	928	分担金	0
区 分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	171	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	757	総入金	0
計	928	諸収入	0
備 考 欄	その他	0	

企003	項目名	麒麟のまち創生推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	167
年度	R8	所属名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広域連携係 0857-30-8013		
款 総務費	【1 2 次総の施策体系】0101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取市と岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町の1市6町は、連携中枢都市圏を形成し、人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域の持続的発展を目指し、広域連携による取組を進めている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 麒麟のまち創生戦略会議と連携中枢都市圏ビジョン懇談会による連携中枢都市圏ビジョンの進捗管理を行う。 また、圏域住民の地域愛着度向上を目的として、圏域住民に向けた圏域各市町の相互理解を図るエリアプロモーションに取り組む。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	3,574	その他財源の内訳	【事業の内容】
本年度要求額	3,139	分担金	・麒麟のまち創生戦略会議の開催 3回
総務部長段階査定額	3,139	負担金	・連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催 2回
市長段階査定額	3,139	使用料	・エリアプロモーション事業
区 分	本年度予算額	手数料	麒麟のまち聖地巡礼デジタルスタンプラリー 2,608千円
財 源 内 訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	財産収入 寄付金 総入金 諸収入 その他	【事業の実績】
	1,193 0 211 1,735 3,139	0 0 211 0 0	【エリアプロ モーション】 [事業費] [創生戦略会議] [ビジョン懇談会] モーション 令和5年度 2,836千円 3回 2回 2,512千円 令和6年度 3,232千円 3回 2回 2,986千円 令和7年度 (見込み) 3,574千円 3回 2回 3,014千円
備考欄			

企004	項目名	環境大学運営費交付金	新規事業
予算書項目	公立大学法人運営事業費	ページ	169
年度	R8	所属名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【1 2 次総の施策体系】1201		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 地方独立行政法人法第42条第1項の規定に基づき、公立鳥取環境大学の共同設置者の鳥取県と鳥取市は、同大学に対して運営費交付金等を交付している（鳥取県及び鳥取市の負担額は1/2ずつ）。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 公立鳥取環境大学の安定的な運営を図るとともに、授業料等への支援が必要な学生の経済的負担の軽減を図る。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	625,612	その他財源の内訳	【事業の内容】
本年度要求額	657,085	分担金	・大学運営に必要な経費の一部について運営費交付金を交付するとともに、大規模な修繕等の経費に対して施設整備費補助金を交付する。また、高等教育の修学支援新制度に係る経費に対して授業料等減免費交付金を交付する。
総務部長段階査定額	657,085	負担金	・運営費交付金 481,947千円
市長段階査定額	657,085	使用料	・施設整備費交付金 68,346千円
区 分	本年度予算額	手数料	・授業料等減免費交付金 106,792千円
財 源 内 訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	財産収入 寄付金 総入金 諸収入 その他	【事業の実績】 [運営費交付金] [施設整備補助金] [授業料等減免費交付金] 令和5年度 430,591千円 39,802千円 41,390千円 令和6年度 502,225千円 19,673千円 43,823千円 令和7年度 (見込み) 495,737千円 42,311千円 106,792千円
備考欄			

企005	項目名	明治大学連携事業費	新規事業	
予算書項目	明治大学連携事業費	ページ	169	
年度	R8	所属名	企画推進部 政策企画課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012			
款 総務費	【12次総の施策体系】3201			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 明治大学は、創立者出身地の3地域（鳥取県・天童市・鯖江市）と連携協力に関する協定を締結し、連携を推進している。明治大学の前身である明治法律学校の創立者の1人であり、初代校長を務めた岸本辰雄氏が鳥取市出身であることから、平成28年11月13日に鳥取市と明治大学の連携協力に関する協定書を締結した。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本市の有する歴史・文化・産業・自然と、明治大学の有する知的財産・人材を有機的に活用することで、相互の交流と発展を図る。			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	339			
本年度要求額	1,035			
総務部長段階査定額	1,035			
市長段階査定額	1,035			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	1,035	手数料	0
	計	1,035	財産収入	0
			寄付金	0
		総入金	0	
		諸収入	0	
		その他	0	
備考欄				

企006	項目名	まちなか交流広場管理費	新規事業	
予算書項目	まちなか交流広場管理費	ページ	169	
年度	R8	所属名	企画推進部 政策企画課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012			
款 総務費	【12次総の施策体系】3402			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市役所旧本庁舎跡地に整備を進めている緑地広場やイベント広場、駐車場を備えた「鳥取市まちなか交流広場」は令和8年3月の供用開始を予定している。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 鳥取市まちなか交流広場の管理運営を行うことで、市民の交流を推進し、中心市街地の賑わい創出を図るとともに、市民の防災意識の高揚に資する。			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	1,653			
本年度要求額	14,414			
総務部長段階査定額	14,277			
市長段階査定額	14,277			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	161	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	2	使用料	2
	一般財源	14,114	手数料	0
	計	14,277	財産収入	0
			寄付金	0
			総入金	0
			諸収入	0
			その他	0
備考欄				

企007	項目名	市政広報費	新規事業
予算書項目	市政広報費	ページ	163
年度	R8	所属名	企画推進部 秘書課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-30-8008		
款 総務費	【12次総の施策体系】0104		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市民が様々な場面や手段で市政情報を容易に取得できるよう、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ、SNSなど様々なメディアを活用して情報提供を行っている。		
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 様々なメディア・SNS等が持つ特性を生かし、市政情報を市民に発信することは、本市の広報戦略上重要な課題であり、効果的な情報発信・提供を行い、市政情報の市民への浸透を図る。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	69,410	本年度要求額	58,914
総務部長段階査定額	56,449	その他財源の内訳	
市長段階査定額	56,449	分担金	0
区 分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	209	寄付金	0
一般財源	56,240	総入金	0
計	56,449	諸収入	209
備 考 欄	その他	0	

企008	項目名	国際交流費	新規事業
予算書項目	国際交流促進費	ページ	167
年度	R8	所属名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022		
款 総務費	【12次総の施策体系】0104		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 姉妹都市である韓国・清州市やドイツ・ハーナウ市、交流都市である中国・延辺朝鮮族自治州、本市に縁のあるブラジル鳥取県人会などとの国際交流を推進している。これまでに培われた関係性を基盤としつつ、経済をはじめとする幅広い分野において交流の拡大・深化を図る必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 官民が連携しつつ、姉妹都市や交流都市などとの交流を推進することにより、市民の国際意識の高揚、相互理解の増進、関係・交流人口の拡大を図るとともに、外国人住民支援団体などとの連携を深めることにより、多文化共生のまちづくりの推進を図ることで、地域の活性化につなげる。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,118	本年度要求額	7,122
総務部長段階査定額	6,333	その他財源の内訳	
市長段階査定額	6,333	分担金	0
区 分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	6,333	総入金	0
計	6,333	諸収入	0
備 考 欄	その他	0	

企009	項目名	国内都市交流総合推進費	新規事業
予算書項目	国内交流推進費	ページ	167
年度	R8	所属名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022		
款 総務費	【12次総の施策体系】0104		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 姉妹都市である北海道釧路市、兵庫県姫路市、山口県岩国市、福島県郡山市、歴史的なつながりや共通するテーマなどがある他都市、各地域の県人会などとの交流を推進している。これまでに培われた関係性を基盤としつつ、経済をはじめとする幅広い分野において交流の拡大・深化を図る必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 官民が連携しつつ、姉妹都市などとの交流を促進することにより、相互理解の増進、関係・交流人口の拡大を図ることで、地域の活性化につなげる。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	5,082	その他財源の内訳	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会との交流事業 ・鳥取市施設入館無料キャンペーン（姉妹都市市民向け） ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入・各県人会総会参加
本年度要求額	1,251	分担金	0
総務部長段階査定額	1,095	負担金	0
市長段階査定額	1,095	使用料	0
区 分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	財産収入	0
	0 0 0 1,095 1,095	寄付金	0
		総入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

企010	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	277
年度	R8	所属名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【12次総の施策体系】3301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 少子・高齢化の進行などにより、文化芸術団体の構成員や伝統文化の保存団体が減少している。地域の文化芸術活動の持続・発展のため、活動者に対する支援や新たな担い手を発掘・育成していく必要がある。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 文化芸術団体などの活動に対する支援を行うとともに、青少年に優れた芸術を鑑賞する機会を提供することにより、豊かな人間性の育成や将来の文化芸術の担い手の育成を図ることで、本市の文化芸術の持続・発展につなげる。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	8,962	その他財源の内訳	【事業の内容】 (1)児童生徒を対象とした文化芸術事業 伝統芸能の鑑賞、演劇ワークショップ等 (2)文化団体の育成 鳥取市文化団体協議会に対し、活動拠点である「文化活動ひろば」の運営管理費のほか文化団体の組織化のため、会報制作費を支援する。また、鳥取市文化団体協議会や新市域文化団体組織（連合体）に所属する団体の公立文化施設の施設使用料等を減額する。 (3)地元作家による作品の収蔵に関する検討会議《新規》
本年度要求額	5,603	分担金	0
総務部長段階査定額	5,209	負担金	0
市長段階査定額	5,209	使用料	0
区 分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	財産収入	0
	348 0 3,779 1,082 5,209	寄付金	0
		総入金	3,779
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

企011	項目名	文化芸術推進事業補助金		新規事業	
予算書項目	文化振興費		ページ	277	所属名
年度	R8		企画推進部 文化交流課		
会計名			事業の概要		
一般会計			【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款	教育費		【1 2 次総の施策体系】3301		
項	社会教育費		【事業の経過及び背景】		
目	文化振興費		本市では、様々な分野の文化芸術団体や伝統文化の保存団体などが活動を行っている。地域の文化芸術活動の持続・発展に向けて、これら市民主体の活動を促進していく必要がある。		
(単位:千円)					
前年度当初予算額		10,377			
本年度要求額		8,080			
総務部長段階査定額		8,080			
市長段階査定額		8,080			
区分		本年度予算額		その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	1,716		分担金	0
	地方債	0		負担金	0
	その他	6,364		使用料	0
	一般財源	0		手数料	0
	計	8,080		財産収入	0
備考欄		寄付金 6,364 総入金 6,364 諸収入 0 その他 0			

企012	項目名	舞台芸術X地域活性化事業費		新規事業	
予算書項目	文化振興費		ページ	277	所属名
年度	R8		企画推進部 文化交流課		
会計名			事業の概要		
一般会計			【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款	教育費		【1 2 次総の施策体系】3201		
項	社会教育費		【事業の経過及び背景】		
目	文化振興費		鳥の劇場は、演劇を中心に多彩なプログラムを提供する鳥の演劇祭を開催するなど、本市の文化芸術の振興、地域の賑わい創出などに寄与している。本市は、鳥の劇場、県、地域と連携し、鳥の劇場の舞台芸術を核とした地域活性化に向けた取組を推進している。		
(単位:千円)					
前年度当初予算額		32,448			
本年度要求額		2,082			
総務部長段階査定額		2,082			
市長段階査定額		2,082			
区分		本年度予算額		その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	0		分担金	0
	地方債	0		負担金	0
	その他	2,082		使用料	0
	一般財源	0		手数料	0
	計	2,082		財産収入	0
備考欄		寄付金 2,082 総入金 2,082 諸収入 0 その他 0			

企013	項目名	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費	新規事業	
予算書項目	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費		ページ 277	
年度	R8		所属名 企画推進部 文化交流課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021			
款 教育費	【12次総の施策体系】3301			
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 令和元年5月の「日本遺産」認定を受け、麒麟のまち圏域1市6町とその観光協会、一般社団法人麒麟のまち観光局で設立した「日本遺産『麒麟のまち』推進協議会」を中心に麒麟のまち圏域の活性化に向けて情報発信や普及啓発などの取組を推進している。			
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 日本遺産ストーリーや構成文化財の情報発信、来訪者の受入体制の充実などに取り組むことにより、麒麟のまち圏域への来訪者の増加、圏域内での周遊の促進、住民意識の高揚を図ることで、圏域の活性化につなげる。			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	18,844			
本年度要求額	14,473			
総務部長段階査定額	14,473			
市長段階査定額	14,473			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	1,200	使用料	0
	一般財源	6,637	手数料	0
	計	14,473	財産収入	0
			寄付金	0
		総入金	1,200	
		諸収入	0	
		その他	0	
備考欄				

企014	項目名	出会い・つながり・花ひらく文化芸術推進事業費	新規事業	
予算書項目	出会い・つながり・花ひらく文化芸術推進事業費		ページ 277	
年度	R8		所属名 企画推進部 文化交流課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021			
款 教育費	【12次総の施策体系】3301			
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 文化芸術の薫りあふれるまち鳥取市を目指し、様々な文化芸術施策を推進しているところであり、コロナ禍以降は芸術家等への支援を重点的に行ってきました。今後は、次世代育成の取組や、芸術家等の自立に向けた取組を進めていく必要がある。			
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 様々な文化芸術活動を行う芸術家、芸術家団体が次世代育成の取組や幅広く芸術に触れ合う機会を創出するなど、より多くの市民が文化芸術に出会い、つながり、豊かな心や興味が花ひらくよう本市の文化芸術の振興を進める。			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	20,322			
総務部長段階査定額	20,322			
市長段階査定額	20,322			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	10,161	手数料	0
	計	20,322	財産収入	0
			寄付金	0
			総入金	0
			諸収入	0
			その他	0
	備考欄			

企015	項目名	鳥取城跡周辺日本遺産にぎわい形成事業費	新規事業	○
予算書項目	鳥取城跡周辺日本遺産にぎわい形成事業費		ページ	277
年度	R8		所属名 企画推進部 文化交流課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021			
款 教育費	【12次総の施策体系】3301			
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 鳥取城跡周辺エリアは、中ノ御門全体復元や仁風閣の改築などの取組により、今後も鳥取城跡と太閤ヶ平への注目が集まることが想定される。日本遺産の構成文化財でもある鳥取城跡の周辺エリアのにぎわいにつなげる誘客への取組が求められる。			
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 鳥取城跡周辺のにぎわいを形成するため、今後整備予定のビジターセンターにおける誘客の取組を進めることで、関係人口の増加と日本遺産「麒麟のまち」の理解と深化につなげる。			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	3,960			
総務部長段階査定額	3,960			
市長段階査定額	3,960			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,980 0 0 1,980 3,960	分担金 負担金 使用料 手数料 財産収入 寄付金 総入金 諸収入 その他	0 0 0 0 0 0 0 0 0
備考欄				

企016	項目名	市民会館施設管理費	新規事業	
予算書項目	施設管理費		ページ	279
年度	R8		所属名 企画推進部 文化交流課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021			
款 教育費	【12次総の施策体系】3301			
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 1967年（昭和42年）から鳥取市民会館の運営を行っており、市民の文化芸術活動の拠点の一つとなっている。2010年（平成22年）に耐震改修などを実施したものの、老朽化が進行していることから、適正な維持管理と併せて今後の方向性を検討する必要がある。			
目 市民会館管理費	【事業の目的及び効果】 市民の文化芸術活動などの拠点の1つとして市民会館の適正な管理運営を行うことにより、施設の機能維持を図ることで、利用者の安全・安心や利便性の確保につなげる。			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	47,538			
本年度要求額	317,431			
総務部長段階査定額	44,967			
市長段階査定額	44,967			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,564 0 0 43,403 44,967	分担金 負担金 使用料 手数料 財産収入 寄付金 総入金 諸収入 その他	0 0 0 0 0 0 0 0 0
備考欄				

企017	項目名	国際交流プラザ管理運営費	新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	167
年度	R8	所属名	企画推進部 国際交流プラザ
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253		
款 総務費	【12次総の施策体系】2304		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 日本人住民と外国人住民の相互理解や国際交流を促進するため、1997年（平成9年）から国際交流プラザの運営を行っている。本市の多文化共生のまちづくりを推進するうえで、今後も中心的な役割を担うことが期待されている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本市における国際交流・多文化共生の推進の拠点として当該施設を運営することにより、市民の国際意識の醸成、相互理解の増進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	8,039	その他財源の内訳	【事業の内容】 英語及び中国語担当職員を配置し、外国人住民向けの情報発信や相談業務、国際理解講座などの運営を行う。
本年度要求額	8,698	分担金	0
総務部長段階査定額	8,698	負担金	0
市長段階査定額	8,698	使用料	0
区 分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	財産収入	0
	0 0 0 8,698 8,698	寄付金	0
		総入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

企018	項目名	在住外国人支援事業費	新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	167
年度	R8	所属名	企画推進部 国際交流プラザ
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253		
款 総務費	【12次総の施策体系】2304		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 「世界に開かれた交流都市鳥取」の理念のもと、国際交流の推進、国際感覚豊かな人づくりや多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。日本人住民も外国人住民も多文化共生の意義を理解し、互いに安心・安全に暮らしていくため、地域における共生意識の醸成に向けた取組が求められている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 外国人住民の日本語習得に対する支援や交流機会を創出することにより、外国人住民の日本社会に対する理解の推進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	201	その他財源の内訳	【事業の内容】 (1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語指導ボランティア登録者への講習会の開催など資質の向上を図る。 (2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」を実施する。
本年度要求額	201	分担金	0
総務部長段階査定額	201	負担金	0
市長段階査定額	201	使用料	0
区 分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	財産収入	0
	0 0 0 201 201	寄付金	0
		総入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

企019	項目名	市民国際理解推進事業費	新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	167
年度	R8	所属名	企画推進部 国際交流プラザ
会計名			
一般会計			
款	総務費	事業の概要	
項	総務管理費	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253	
目	企画費	【12次総の施策体系】2304	
(単位:千円)			
前年度当初予算額	311	【事業の経過及び背景】 「世界に開かれた交流都市鳥取」の理念のもと、国際交流の推進、国際感覚豊かな人づくりや多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。日本人住民も外国人住民も多文化共生の意義を理解し、互いに安心・安全に暮らしていくため、地域における共生意識の醸成に向けた取組が求められている。	
本年度要求額	311	【事業の目的及び効果】 市民が外国の言語や生活文化・習慣などについて学ぶ機会を創出することにより、国際感覚の醸成や外国人住民に対する理解の推進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。	
総務部長段階査定額	311	【事業の内容】 国際交流プラザで国際理解講座（国際クッキング教室、講演会、ミニ講座、展示会）や交流イベントの開催、外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語）などを実施する。	
市長段階査定額	311	【事業の実績】 (1) 国際理解講座（参加人数） 令和5年度 33人 令和6年度 28人 令和7年度 50人（見込み） (2) 語学講座（受講人数） 令和5年度 46人 令和6年度 43人 令和7年度 44人	
区分	本年度予算額	備考欄	
財源内訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	311	その他財源の内訳
	311	0 0 0 0 0	分担金 負担金 使用料 手数料 財産収入 寄付金 総入金 諸収入 その他
	311	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
	311	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
	311	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0

企020	項目名	地域情報化推進費	新規事業														
予算書項目	地域情報化推進費	ページ	167														
年度	R8	所属名	企画推進部 デジタル戦略課														
会計名																	
一般会計																	
款	総務費	事業の概要															
項	総務管理費	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026 【12次総の施策体系】0102															
目	企画費	【事業の経過及び背景】 地域情報化推進のため、通信ネットワーク、携帯電話、コミュニティFMなどの情報通信基盤及び行政サービスを提供してきた。															
(単位:千円)																	
前年度当初予算額	32,102	【事業の目的及び効果】 地域情報化推進のため、情報化に関する情報収集を行うとともに、総合行政ネットワーク、鳥取情報ハイウェイ市町村アクセス網、地域インターネット、公衆無線LAN、携帯電話用鉄塔等の各種情報通信基盤及び情報提供システム等の適切な管理を行う。															
本年度要求額	31,159	<table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>本年度予算額</td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td>国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>32,102</td> </tr> <tr> <td></td> <td>31,159</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30,057</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30,057</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30,057</td> </tr> </table>		区分	本年度予算額	財源内訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計		32,102		31,159		30,057		30,057		30,057
区分	本年度予算額																
財源内訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計																
	32,102																
	31,159																
	30,057																
	30,057																
	30,057																
総務部長段階査定額	30,057	【事業の内容】 (1) 地域インターネット（学校、地区公民館等拠点接続）、公衆無線LANの整備及び管理 (2) とどり施設予約サービスの管理 (3) 電柱共架設備の管理（インターネット関係、総合行政ネットワーク関係） (4) 携帯電話用鉄塔・伝送路の維持管理															
市長段階査定額	30,057	【事業の実績】 令和5年度 28,986千円 令和6年度 33,143千円 令和7年度 32,102千円（見込み）															
区分	本年度予算額	備考欄															
財源内訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	30,057	その他財源の内訳														
	30,057	0 2,900 802 26,355 30,057	分担金 負担金 使用料 手数料 財産収入 寄付金 総入金 諸収入 その他														
	30,057	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0														
	30,057	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0														
	30,057	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0														

※その他の財源の諸収入は、携帯電話伝送路使用料、コミュニティFM中継局設備使用料

企021	項目名	超高速情報通信基盤整備事業費	新規事業
予算書項目	有線テレビジョン放送施設管理費	ページ	167
年度	R8	所属名	企画推進部 デジタル戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【12次総の施策体系】0102		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市民生活に必要不可欠な社会基盤の1つとして超高速情報通信網が必要となったことを受け、本市が所有する有線テレビジョン放送施設の光化を年次的に実施してきた。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本市が所有する有線テレビジョン放送施設の耐災害性強化、老朽化及び高速化対応のため、有線テレビジョン放送施設のFTTH化を実施し、令和5年度末に全エリアの幹線及び局舎の整備が完了した。今後は、旧設備からの切替を行い、切替が完了したエリアより順次、旧設備の撤去を進めていく。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	286,901	本年度要求額	131,603
総務部長段階査定額	131,603	その他財源の内訳	
市長段階査定額	131,603	分担金	0
区 分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	131,600	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	3	総入金	0
計	131,603	諸収入	0
備考欄	その他	0	

企022	項目名	次期基幹システム構築事業費	新規事業
予算書項目	住民情報システム管理費	ページ	173
年度	R8	所属名	企画推進部 デジタル戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報システム係 0857-30-8027		
款 総務費	【12次総の施策体系】0103		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の制定により、地方公共団体における事務処理内容の共通性や住民利便性の向上、地方行政運営の効率化の観点から、対象となる住民基本台帳、個人住民税等の20業務のシステムを標準準拠システムへ移行することとなった。その移行期限は令和7年度末と定められていたが、期限までに移行が完了しないシステム（特定移行支援システム）が全国的に多くあることなどにより、国は、移行期限を令和12年度末に延長した。		
目 電算処理費	本市においても、対象20業務全てが事業者都合により特定移行支援システムとなったことから、令和10年度の移行に向けて取組を進める。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	0	本年度要求額	58,166
総務部長段階査定額	52,688	その他財源の内訳	
市長段階査定額	52,688	分担金	0
区 分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	52,688	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	0	総入金	0
計	52,688	諸収入	0
備考欄	その他	0	

企023	項目名	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会事業費	新規事業
予算書項目	電算事務費	ページ	173
年度	R8	所属名	企画推進部 デジタル戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【1 2 次総の施策体系】0103		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 電算処理費	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会会則（平成27年5月12日施行） " 広域連携協約（平成28年4月1日締結） 鳥取市と鳥取県との間の地方公共団体における情報通信技術の共同化に関する事務の委託に関する規約（平成29年4月1日施行）		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	24,748	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	18,286	会員が相互に連携・共同した取組により、人口減少社会に対応する行政体制の維持、事務の効率化を目指し、業務や情報システムの標準化、共同化による経費削減のほか、情報システム運用上の安全性の確保、人材育成等に資することを目的とする。	
総務部長段階査定額	18,286	名称：鳥取県自治体ICT共同化推進協議会 会員の構成：鳥取県、鳥取県内市町村	
市長段階査定額	18,286	【事業の内容】	
区分	本年度予算額	(1) 全会員または特定の会員が共同で取り組む情報システムの整備及び運用等に関するこ	
財源内訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	18,286	(2) 情報セキュリティに係る脅威に対する適切な対策に関するこ
		18,286	(3) 行政職員におけるICT分野の人材育成に関するこ
			(4) その他協議会の目的達成に必要な事業
			① 行政イントラシステム（協議会調達）利用期間：R4.12～R9.11 ② 電子申請・届出システム（協議会調達）利用期間：R5.4～R10.3 ③（鳥取・岡山）自治体セキュリティクラウド（鳥取県調達）利用期間：R4.4～R9.3 ④ インターネット回線の共同調達（鳥取県調達）利用期間：③と同じ ⑤ 統合型GIS（協議会調達）利用期間：R8.4～R13.3
備考欄	【事業の実績】		
		令和5年度 11,378千円	
		令和6年度 11,562千円	
		令和7年度 22,148千円（見込み）	

企024	項目名	自治体行政スマート事業推進費	新規事業
予算書項目	情報通信技術利活用促進事業費	ページ	173
年度	R8	所属名	企画推進部 デジタル戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【1 2 次総の施策体系】0103		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 電算処理費	多様化する市民サービスと労働力不足の課題への対策として、ICT技術を利用した次世代情報システムの導入に向けた調査・検討を進めてきた。		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	7,894	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	14,324	多様化する市民サービスと労働力不足の課題への対策として、ICT技術を利用した次世代情報システム（AI、RPA）を活用し、行政事務の効率化と市民サービスの向上を図るとともに、これまで人手で行ってきた業務に対し次世代情報システムの利用及び行政手続のオンライン化を進めることで、事務の省力化、効率化、高速化を実現し、職員負担の軽減による働き方改革につなげる。	
総務部長段階査定額	7,606	【事業の内容】	
市長段階査定額	7,606	(1) RPAツールの運用 RPAを活用した事務の自動化により事務の効率化を進め、職員の負担軽減を図る。	
区分	本年度予算額	(2) AIツールの運用 会議の議事録作成や紙文書のデータ化にAIを活用し事務の効率化を進め、職員の負担軽減を図る。	
財源内訳	国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	7,606	(3) 行政手続のオンライン化 マイナポータル経由で受付した電子申請情報を住民情報系システムに取込を行うこと
			で、行政手続の効率化を図る。
			(4) Web会議システムの運用
備考欄	【事業の実績】		
		令和5年度 35,976千円	
		令和6年度 7,873千円	
		令和7年度 7,894千円（見込み）	